

週間漁海況情報—第31号

平成23年8月1日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

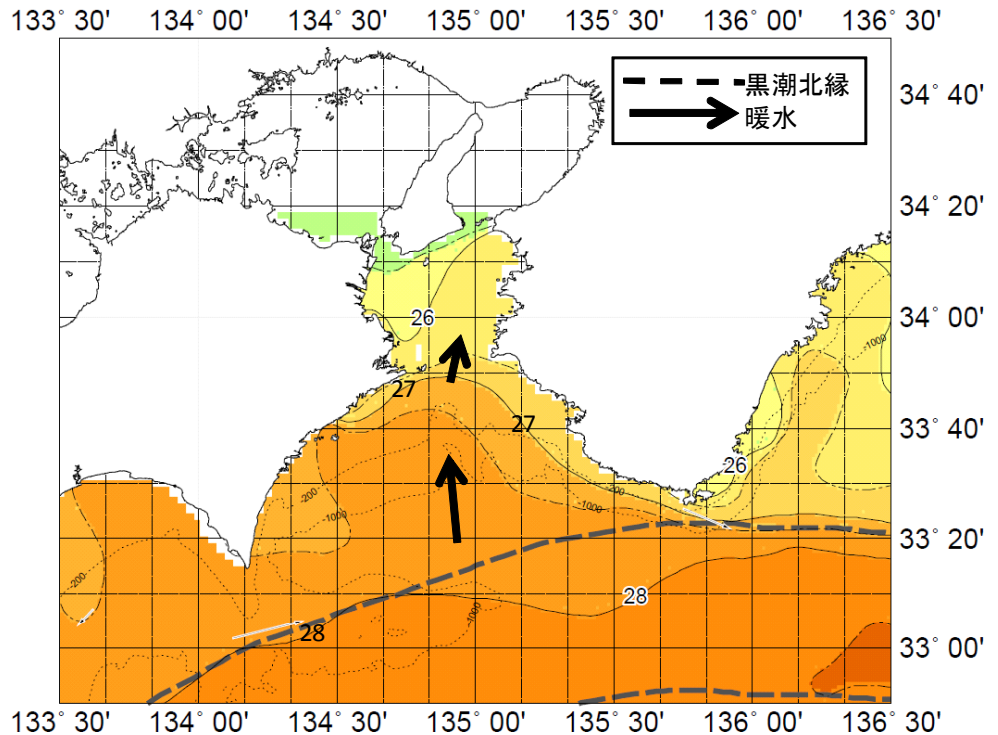
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H23.8.1）を示した。

黒潮は、室戸岬沖および潮岬沖で接岸している。室戸岬以西では、都井岬沖でやや離岸、足摺岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、27～28℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で25℃台、紀伊水道で25～26℃台、海部沿岸で26～27℃台である。



黒潮系暖水が、紀伊水道外域へ広範囲に流入しており、その先端は紀伊水道内に達している。漁業調査船「とくしま」が7月14、15及び25日に行った海部沿岸海区の海洋観測では、水温は全層で「やや高め」の17.5～25.6℃であった。

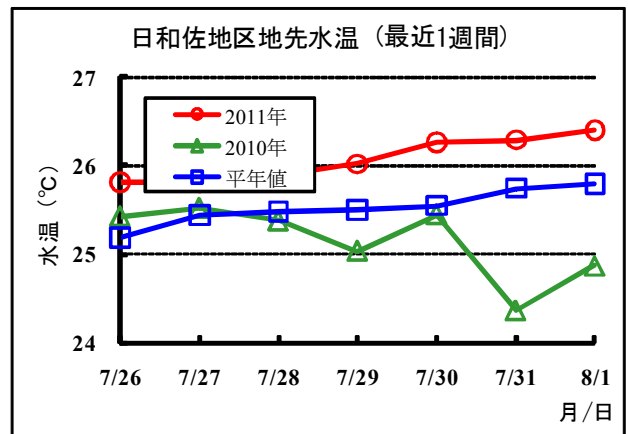
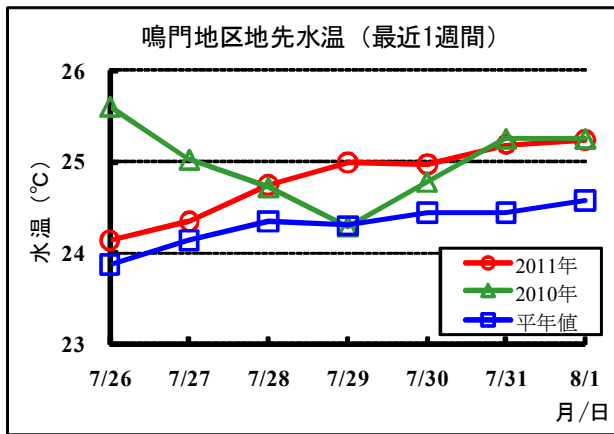
海部沿岸海区観測結果

観測日		水 温						塩 分					
		表層	10m	20m	30m	50m	100m	表層	10m	20m	30m	50m	100m
7/14, 15, 25	今年値	25.6	24.4	23.5	22.8	20.7	17.5	32.6	33.0	33.4	33.9	34.4	34.6
	平年偏差	-0.9	-0.6	-0.6	-0.9	-0.8	-0.9	-0.4	-0.4	-0.3	-0.1	0.0	0.0
	前年偏差	-0.2	1.0	1.9	2.2	2.3	1.8	0.5	0.2	-0.1	-0.2	-0.1	0.0

地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区で「平年並み」～「やや高め」の24.1～25.2℃、日和佐地区で「平年並み」～「やや高め」の25.8～26.4℃、牟岐地区は「高め」～「かなり高め」の26.0～27.8℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上



2. 海況の経過

小型定置網：海部沿岸で、ウルメイワシが2.3トン（1日1隻当たり43kg）、カタクチワシが0.3トン（同23kg）、小小主体にカマス類が0.8トン（同18kg）、小小主体にマアジが3.1トン（同77kg）、マイワシが6.3トン（同202kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で大・小主体にゴマサバが0.6トン（同16kg）、大主体にマルソウダが3.2トン（同19kg）、活主体にヨコワが0.3トン（同1kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが59.6トン（同400kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 7月25日～7月31日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	ウルメイワシ	53	2,273	43	
		カタクチワシ	14	319	23	
		カマス類	42	767	18	小小主体
		マアジ	40	3,061	77	小小主体
		マイワシ	31	6,264	202	
釣り	海部沿岸	ゴマサバ	37	595	16	大・小主体
		マルソウダ	174	3,244	19	大主体
		ヨコワ	467	331	1	活主体
パッチ網	紀伊水道	シラス	149	59,550	400	

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「接岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」～「やや高め」の25～26℃台、日和佐地先は「やや高め」の26～27℃台前半で推移する見込み。

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年7月26日～8月1日の海部沿岸では、小型定置網でウルメイワシ0.4トン、小小主体にカマス類0.7トン、小主体にマアジ1.0トン、マルソウダ1.0トン、釣りでヨコワ0.2トンが水揚げされていた。紀伊水道では、パッチ網でシラス51.2トンが水揚げされていた。